名古屋観世会定例公演能

平成28年 11月13日[日] 12時30分開演(11時30分開場)



平成28年度のご案内

SS席年間特別指定席券 35,000円

S席年間指定席券

年間自由席券

25,000円 15,000円 当日指定席券

8,500円 6,000円

2,500円

※自由席券は、各回共通、1回に 何枚でもご使用になれます。

た場合、年度内ならば何時でも、自由席 券としてご使用できます。その時は必ず 受付にて当日券に変更してください。

すでにご購入済みの「年間チケット」を上位席に変更できます。

差額 7,000円 ●年間自由席→S席に変更の場合 差額 3,000円

お問い合わせ

名古屋観世会事務所(太田勘鳴方) 〒465-0093 名古屋市名東区一社3-162

TEL(052)734-6192 FAX(052)705-1585



後見

観 山

世 崎

芳

松八吉

山

祖父江修

伊

正

道 伸

シテ衛門常世 久 田

ツレ常世の妻 久保信一朗

勘

鷗

番

組

【あらすじ】信濃から鎌倉へ上ろうとする一人の旅僧が

▶鉢木(はちのき

ワキ扇寺時頼飯 富雅介 ワキツレニ階堂 橋本

ワキツレ従者 橋本 二階堂下人 野村又三郎 叡

間

界佐藤友彦 早打 鹿島俊

小鼓 大鼓 久田舜一郎 河村真之介

笛

藤田六郎兵衛

伊 藤裕貴 早打

今

枝

郁

雄 裕

後見 祖父江修一

地謡 久田勘 松本吉 田 沢

告郎 加 梅 田 賀 邦 敏

勲 旭 観 清 世 芳 政伸久彦

山

鹿 島 俊 裕

主人

水

太郎冠者 井上松次郎

後見 松 田 髙 義

休

憩十

五

地謡 梅田 久保信一朗 邦 久

久田勘吉郎

伊 藤 裕

後シテ喜城/神梅 若前シテ里女 梅若

玄

祥

ワキツレ山伏

相元

正

樹

大鼓

郎

ワキ山伏

高安勝久

ワキツレ山伏

橋本

宰

後藤嘉津幸 河村総一 仕

舞

山松岩

風船

吉

姥

キリ

松 山 神 沢

幸 孝

親 充 旭

笛 太鼓 加 藤田六郎兵衛 藤洋 輝

間

里人 松

田

髙

義

神 沢 藤 孝 裕 充 旭 貴 藤 久 清 井 田 沢 完 勘 治鷗政

(四時半頃 終了予定)

▼葛城(かづらき)

里へ帰ってゆきます。

の忠誠を賞して、旧領を返えさせた上、梅松桜に縁のある

二カ荘を与えます。常世は一陽来復の喜びをえて、勇んで郷

た常世に、時頼は、過日の旅僧は自分であったと明かし、彼

るが、昔、役ノ行者に命ぜられた岩橋を架けなかったため、不は不審に思って、その素性を尋ねると、自分は葛城の神であ の苦を免れた喜びを述べ、大和舞をまい、暁近くなると、岩 束にした木々の細枝を標と呼ぶのだといい、「標結ふ葛城山 和国(奈良県)の葛城山へとやって来ます。折しも降りしき 動明王の索に縛られ苦しんでいるといって消え失せます。 して、自分の三熱の苦しみを助けて下さいと頼みます。山伏行を始めようとすると、女は、お勤めのついでに加持祈禱を 【あらすじ】出羽国(山形県)の羽黒山から出た山伏が、大 します。すると、その修法にひかれて、葛城の神が現れ、三熱 あわせ、奇特なことと思い、夜もすがら女神のために祈禱 ると教えてくれます。山伏は好意を謝し、やがて後夜の勤 に降る雪の、間なく時なく思ほゆるかな」という古歌もあ る雪に悩んでいると、一人の里女が現れ、彼女の庵に案内 について尋ねます。その話を聞き、先程の女の事など思い /中入>そこへ麓の男が上って来たので、葛城山の岩橋の事 し、焚火をしてもてなしてくれます。そして、雪の中で集めて の内へ姿をかくします。

一、都合に依り曲目、出演者に変更があるかも知れませんが予めご承知

下さい。

◆御案内

一、録音、撮影等はかたくお断り致します

一、演能終了後の拍手は、シテが幕に入ります迄御遠慮頂ければ幸甚に

名古屋観世会

、幼児のご入場は勝手乍らお断り致します。

携帯電話及び時計のアラーム等はあらかじめ電源をお切り下さい。

一、演能中はお静かに又演能中のお出入りはなるべくご遠慮下さい。

能楽手帖 権藤芳一より

平成29年度日程 名古屋観世会 定例公演予定

- 2月12日(日)
- 6月11日(日)
- 【11月12日(日)



名古屋能楽堂

TEL.052-231-0088

FAX.052-231-8756 http://www.bunka758.or.jp/